

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名称	H26年度予算額		H27年度予算額		H28年度予算額	
3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	114,982	千円		千円		千円
3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,292,165	千円		千円		千円
計	1,407,147	千円		千円		千円

戦略プロジェクト3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
49.2						60.0

◆成果指標3A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
5.7						8.0

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・グループ型小規模保育事業の実施による待機児童解消の推進と子ども子育て新システムの先取り実施
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進（若草乳児保育園と白樺保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度	備 考
待機児童解消対策事業	待機が解消された児童数	30 人	人	人	
	事業費	17,550 千円	千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業	入所児童数	120 人	人	人	
	入所率	100 %	%	%	
	事業費	36,500 千円	千円	千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全中学校で放課後の補充的学習を実施
- ・小学校4年生以下へ外国語活動を拡大
- ・大学による出前講座など、体力向上の支援
- ・市営住宅各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度	備 考
小中学校学習サポート事業	年間派遣人数	39 人	人	人	
	事業費	9,317 千円	千円	千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合	70 %	%	%	
	事業費	636 千円	千円	千円	
小学校外国語活動支援事業	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	100 %	%	%	
	事業費	20,900 千円	千円	千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- 地域で歩いて行ける範囲でのひろば事業の空白地域の解消
- ひろば事業とサロン事業の整理
- 多世代交流の場の創出

<取組の概要>

- ・親子安心育成事業まちなかひろばでのソフト事業の展開
- ・あそびのひろば事業の空白地帯の解消及び出張ひろばを包括的に展開することによる地域の子育て支援環境を整備

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延利用者数	80 千人	千人	千人	
	託児延利用者数	900 人	人	人	
	事業費	27,194 千円	千円	千円	
あそびのひろば事業	子育てひろば及びサロン参加組数	1,800 組	組	組	
	事業費	2,885 千円	千円	千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7						74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3						78.0

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度	備考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業進捗率(累計)	73 %	%	%	
	事業費	1,284,544 千円	千円	千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス利用者の減少によるバス交通の減便対策
- 南北間の交通ネットワーク構築
- バスに関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・駅を中心としたバス路線見直しに向けた新路線の調査と実証運行（実証運行後はバス会社による運行を目指す）
- ・バス路線マップの随時見直しとバス利用の啓発継続

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度	備考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	548 千人	千人	千人	
	事業費	3,287 千円	千円	千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住みかえニーズの把握
- 高齢者の住みかえ先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導

<取組の概要>

- ・大麻地区での住みかえ相談窓口の開設と安否確認・買い物支援などのソフト事業実施
- ・実態調査と事業者の把握、高齢者総合計画における検討
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度	備考
大麻地区住環境活性化事業	大麻地区の人口	28,652 人	人	人	
	事業費	4,334 千円	千円	千円	